

健全な脳神経機能の維持に役割を果たす栄養素とその効果

グリセロホスホコリンの特性

グリセロホスホコリンは、 α -GPCもしくは α -グリセロホスファチジルコリンとして知られている、人体の組織や母乳中に多く含まれる水溶性プロリン脂質である。膜リン脂質の前駆体であるため、リン脂質を最も多く含むホスファチジルコリンに体内で容易に変換され、神経細胞膜の流動性を改善することにより神経機能を助ける。また、グリセロホスホコリンは血漿中コリン濃度を増加させ、さらにアセチルコリンやホスファチジルコリンの増加をもたらすことから、記憶・認知機能をサポートすると考えられている。

健全な若年成人を対象とした臨床研究において、グリセロホスホコリンが、薬物誘発性記憶喪失に対して有意な効果を示し、基本的な精神的能力を向上させることが確かめられている。グリセロホスホコリンはまた、中高年の記憶力と認知機能の改善にも寄与することが知られており、シスコリンやオキシラセタムと比較しても優れた効果を示した。加えて、成長ホルモン放出をサポートする能力があり、適切な成長ホルモンレベルの維持に貢献していると考えられている。

イチョウ葉の活性成分とその効果

イチョウ葉抽出物の活性成分のギンコーフラボン配糖体は、フリーラジカルからのダメージに対し身体の構造・機能を防御するのに有用であるといわれ、さらに健やかな循環機能と神経能力の維持をサポートする。イチョウは、現存する最も古い樹木種であり、少なくとも2億年の間比較的に変わらずに残存している。イチョウは中国原産で、脳や循環系に対し多くの栄養的効果をもたらすため、漢方薬において長く推奨されている。イチョウ葉抽出物は1970年代前半以降多くの科学的、臨床的研究の対象となっていて、現在ではおそらく最も大規模に研究され、世界中で植物抽出物が利用されている。イチョウへの関心は、脳機能、特に老化脳に対し広く知られた効果を中心としたもので

ある。高齢になるにつれ、身体ではしばしば血管の弾力やハリが失われ、血液の流動性が低下するため、脳への不十分な血液、酸素、栄養素の流れは認知機能障害につながる可能性がある。過去30年間の研究では、1日120~240 mgのイチョウ抽出物の摂取により脳への血流が増大し、その結果、酸素・グルコースの利用も増え、その後精神機能が改善されることが示されている。こうした効果は、イチョウ葉に含まれる2つの主要な植物活性化合物群、ギンコーフラボン配糖体とテルペンラクトンによるものである。強力な抗酸化物質であるギンコーフラボン配糖体は、細胞エネルギー産生や神経伝達を阻害し血管の硬さを増すフリーラジカル蓄積の有害作用を相殺する。イチョウ抽出物はまた、赤血球の互いに付着する傾向(赤血球凝集)を阻害することで、血液の流動性を高めると報告されている。こうした作用が血液の脳への流れの増大に大きく寄与している。細胞膜は細胞間伝達とホルモンシグナル伝達とをスムーズに行うためにあらゆる細胞が持つ作用表面膜である。特に、神経細胞は、正常な神経伝達物質の代謝および神経シグナル伝達のための健全な膜機能に依存している。イチョウ葉抽出物は、毛細血管を広げることによって脳に対する血液や酸素の供給をサポートすることが分かっている。

参考文献:

1. Canal N, Franceschi M, Alberoni M, Castiglioni C, De Moliner P, Longoni A. Effect of L-alpha-glyceryl-phosphorylcholine on amnesia caused by scopolamine. *Int J Clin Pharmacol Ther Toxicol.* 1991 Mar;29(3):103-7.
2. Frattola L, et al. Multicenter clinical comparison of the effects of choline alfoscerate and cytidine diphosphocholine in the treatment of multi-infarct dementia. *Curr Ther Res* 1991;49(4):683-693.
3. Clostre F. [Ginkgo biloba extract (EGb 761). State of knowledge in the dawn of the year 2000]. *Ann Pharm Fr*1999;57 Suppl 1:1S8-88.
4. Haase J, Halama P, Horr R. [Effectiveness of brief infusions with Ginkgo biloba Special Extract Egb 761 in dementia of the vascular and Alzheimer type]. *Z Gerontol Geriatr* 1996;29:302-9.
5. Oken BS, Storzbach DM, Kaye JA. The efficacy of Ginkgo biloba on cognitive function in Alzheimer disease. *Arch Neurol* 1998;55:1409-15.

Product on the Paper

Alpha-GPC

アルファ-GPC

品 番：99255-60
価 格：9,000円(税別)
内 容 量：60粒入 1日2粒/30日分

認知症対策サプリメント

L-α-グリセリルホスホリルコリン、通称α-GPCは、天然に存在するコリン誘導体の一種で、大脳に多く存在します。副交感神経に作用するアセチルコリンの前駆体で、アルツハイマー型認知症を治療するための脳機能改善薬としての可能性が指摘されている成分です。α-GPCは血液脳関門を越えてコリンを速やかに脳へと運ぶことができ、神経伝達物質であるアセチルコリンの生成前駆体にあたります。近年、脳卒中後の障害を残した患者やアルツハイマー型認知症における認知障害のある患者へのα-GPCの効果が盛んに研究されており、イタリアでは2,044人の脳卒中発症後患者に対する臨床試験で、投与から28日間は1日1,000mg、続いて1日400mgに減量して5ヶ月間投与したところ、α-GPCが認知能力を回復させるという仮説が有意な段階まで達したと報告されています。

主成分含有量 (2粒あたり)

成分名	含有量
L-α-グリセリルホスホリルコリン (α-GPC)	500 mg

※この表示値は、目安です。



Ginkgo Biloba Max-V

ギンコービローバ マックス-V

品 番：77330-60
価 格：4,200円(税別)
内 容 量：60粒入 1日2粒/30日分

脳の末梢血管を拡張し、血栓を防ぐハーブ

イチヨウ葉抽出物でもっとも注目されているのが脳の健康を維持する作用です。血行が滞ると脳細胞に酸素と栄養素が届かなくなり、脳の機能が低下します。イチヨウ葉抽出物は血液の粘度を下げ、脳の末梢血管を拡張するため、脳内の血行がよくなり、脳機能が活性化します。加えて、ブドウ糖だけをエネルギーとしている脳はイチヨウ葉抽出物の持つ脳組織中のブドウ糖濃度を高める作用によってさらに活性化されます。イチヨウ葉抽出物には20種類以上のフラボノイドや複数のテルペノイドなどの有効成分が含まれています。フラボノイドは、赤ワインの有効成分として有名なポリフェノールの一種で、強い抗酸化作用があります。また、テルペノイドは主として苦みの成分で、特にイチヨウ葉にしが含まれていないギンコライドには血小板活性化因子を抑える作用があることがわかっています。ギンコライドは、この血小板活性化因子の働きを抑えることで、血栓を予防したり、アレルギー症状を緩和させるのだと考えられています。

主成分含有量 (2粒あたり)

成分名	含有量
イチヨウ葉抽出物 (24%ギンコーフラボングリコサイド)	120 mg
イチヨウ葉抽出物 (非標準化)	300 mg

※この表示値は、目安です。



Order Made Supplement Service

分包による
オーダーメイド
サプリメント
サービス!



- 患者様に合わせた指示箋ができる、オーダーメイド分包サービスです。患者様の満足度がより高くなります。
- 在庫負担がありません。
- 商品のお届けは、クリニック様お届けと患者様直送からお選び頂けます。
- ラベルデザインや容器も色々お選び頂けます。



編集後記

ダグラスニュースレターをお読みいただき誠にありがとうございました。これからも最新の臨床データ、商品情報などを正確に、また、迅速にご提供してまいります。どちら様もご意見・ご希望がございましたら編集者までお寄せください。

無断転載・転用は固くお断りいたします。

発行者：
〒135-0091 東京都港区台場2-3-2
日本ダグラスラボラトリーズ株式会社
TEL: 03-5530-2212